

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 33	
企画名	目指そう PCOG プロバイダー：BLSO アドバンスセミナー
日時	2016年6月12日(日) 15:30～17:00
会場	第9会場 (台東区民会館 8階 第5会議室)
企画責任者	伊藤雄二 (公益社団法人地域医療振興協会 総合診療産婦人科養成センター)
定員	30名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>産科診療や分娩の研修およびその実践を経験した、あるいは今後希望するプライマリ・ケア医がローリスク妊娠の分娩管理について学び、ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) プロバイダーコース受講およびその後の実践につなげる。</p>	
<p>【概要】</p> <p>プライマリ・ケア医向けの BLSO (Basic Life Support in Obstetrics) プロバイダーコースが、本学会の生涯教育 Hands-on セミナーとして一昨年より開催されている。本コースは昨年度より PCOG (Primary Care OB-GYN) プロジェクト活動の一つとして年2回開催されており、今後も継続して開催される予定である。BLSO コースでは主に産科診療に関わることが非日常的である受講生を対象としているが、今後産科診療の研修や診療に継続的に関わりたいプライマリ・ケア医、およびその指導医は ALSO 受講を含めて産科診療に対する理解を深めることが望ましい。一方で ALSO コースの中で学ぶローリスク妊娠の分娩管理に CTG (Cardiotocogram: 胎児心拍数陣痛図/胎児心拍数モニタリング) の判読は重要だが、胎児心拍数に関わる生理学的知識も含め、非産婦人科医には馴染みがなく関わりにくい分野である。昨年の秋季セミナーから ALSO 受講のための基礎コースとして BLSO アドバンスセミナーを開催し、CTG の判読と会陰縫合の基本を症例検討や簡易なシミュレーターを用いて学んでもらい好評であった。また PCOG プロジェクトによる ALSO-Japan 関連施設に対するプライマリ・ケア医の産婦人科研修の受け入れ調査の結果も踏まえ、さらにプライマリ・ケア医やその指導医に産科診療に関する知識と理解を深めてもらいたいと考え、本 WS を企画した。今回も胎児心拍数に関わる生理学をわかりやすく解説し、グループワークによる症例検討によってさらに実践的な応用を学ぶことで、ローリスク妊娠の分娩管理の実際に触れ、今後開催が予定されている本学会主催の学会員向け ALSO コース受講やその後の実践に役立つ WS である</p>	